

平成27年度 技術者育成研修 ブロック研修カリキュラム 【近中ブロック】

【日 時】1回目:平成27年8月25日(火)～28日(金)

【日 時】2回目:平成27年9月15日(火)～18日(金)

【開催場所】新見市商工会館

		8:30	10	11	12	13	14	15	16	17:00		
1日目 (8/25) (9/15)	研修のねらい	開講式、オリエンテーション、中央研修との関係、フォレスターの役割の確認 10:30～11:30			森づくり構想(目標林型と施業方法の選択)			PKT・質疑 10分	資源循環利用構想演習(林業専用道の講義、1000ha程度の団地を対象に間伐計画と林業専用道の検討(机上演習)) 【講義・演習】14:35～17:05		現地実習事前説明	
	担当講師等	局、プロセスマネージャー			外部講師(森林施業系)		外部講師(森林施業系)		林野庁講師			林野庁講師
					木材生産機能と公益的機能を調和させながら、科学的・技術的な知見と森づくりの思想・理念に則った森林施業・森林管理が基本であることについて理解を深める。				現地実習に先立ち、1000ha程度の団地を対象として、市町村森林整備計画を念頭に、間伐の計画と林業専用道の整備計画を大局的に検討する視点を養う。			
2日目 (8/26) (9/16)	研修のねらい	森づくりの構想実習(現況把握、目標林型と施業方法の検討)/ 【現地実習】			資源循環利用構想実習(机上演習の検討結果を踏まえ地形、地質、林況等現地条件の確認) 【現地実習】							
	日程説明等	木材生産機能と公益的機能を調和させながら、科学的・技術的な知見と森づくりの思想・理念に則った森林施業・森林管理が基本であることについて理解を深める。			机上演習で林業専用道の配置等を検討した1000ha程度の団地を対象として、現地条件に応じて、地形の遠望、地質及び水系の確認、周辺の土地利用における社会条件等を観察、確認し、現地調査の方法及びポイントを習得する。							
	担当講師等	外部講師(森林施業系)、林野庁講師			林野庁講師							
3日目 (8/27) (9/17)	研修のねらい	資源循環利用構想演習(現地実習を踏まえた路網の整備計画と木材供給ビジョンの検討、発表準備)										
	日程説明等	ふりかえり(シート記入と共有) 8:35～9:05	机上演習、現地実習のまとめ(演習・発表方法の説明) 9:05～9:35	【演習手順の説明、グループワーク】(検討・発表準備) 9:45～12:00			昼食	【グループワーク】(検討、発表準備) 13:00～17:15				
	担当講師等	プロセスマネージャー	現地実習で確認した団地を対象として、10年間にわたる経営ビジョンを様々な視点から検討し、集約的かつ効率的な森林整備の戦略を策定し、地域の将来ビジョンを描く能力を養う。			林野庁講師			林野庁講師			
4日目 (8/28) (9/18)	研修のねらい	資源循環利用構想演習(発表準備、発表、ディスカッション) 【演習】 8:35～12:00			資源循環利用構想演習【講評】 13:00～13:55			4日間のふりかえり(記入と共有) 14:05～14:35	アクションプラン再検討・精査 14:35～14:55	閉講式		
	日程説明等	・10年間の間伐計画及び路網整備計画を含む総合的な森林整備の構想策定を通じて、市町村森林整備計画における木材生産を中心とした団地の中・長期的な森林・林業の経営ビジョンを構築するための能力を高める。 ・コミュニケーション・プレゼンテーションの講義の内容を実践し、合意形成のための効果的なプレゼンテーションと建設的な議論を行うための能力の向上を図る。			昼食							
	担当講師等	林野庁講師(局)			林野庁講師			プロセスマネージャー		局		

15:00終了

(注)「PKT」とは、ベチャクチャタイムの略